

No.62 アニッシュ・カプーア 「山」

Anish Kapoor

北川フラムさんのコラム / 1995 (平成7) 年 5月15日付 立川市市報記事より

ビルの谷間にあるヒマラヤ山脈。人工的な自然としてつくられた山と建築物との大きさの転倒が、この作品の面白さだ。

それ故、カプーアがこの作品の周りに木を植えることに反対したのはよく分かる。彼は、美術が極めて人工的であることを知っているのだ。

アニッシュ・カプーアはインド生まれの作家で、今はイギリスで生活している。

彼の作品は、今までの西洋的な彫刻作品と違って、柔らかで、周りの風景を温かく変えていく。このとがった山でも、その形や、やがて変化していくサビにはやさしさがあるようだ。

ちなみに、これは23トンの鉄の鋳物で、等高線に沿って6段に分けて現場に運び、組み立てたものである。